

## 属于你的天天好日

## この人の天天好日

从本期起,我们将不定期地开辟一个专门介绍活跃在日本各地的归国者的栏目。开辟此栏目的目的在于,通过向大家介绍那些在平凡的日常生活中,寻找到属于自己的生活乐趣和价值的归国者的事例(不仅仅局限在经济上获得成功的层面),以求给读者带来勇气和力量。本期,将首次刊登一位在体育活动中寻得快乐的第一代归国者的故事。

## 在爱好中展开的新生涯

住在千叶县的、62岁的A先生是第一代归国者(孤儿本人)。他给人的印象是稳重沉静、谨慎客气。A先生来到日本已经17年了,儿子们也已长大成人。虽然可以说他已经融入了日本的生活,但除了打招呼以外,A先生没有一个能交谈的左邻右舍。而他本人的日语,也无法帮助他畅所欲言。两年前,A先生前来参加支援・交流中心在台东区某公园举办的首次门球讲座时,看上去也并无显眼之处。

就是这样一位A先生,他报名听讲座的契机,是因为在家附近看到了门球练习的场景。之后一有机会,他便跑去看人家打门球。越看就越想打,可又鼓不起勇气来,只好一天又一天地当观众。就在这时,他听说了本中心开设门球讲座的消息,连门球规则一起教的这门讲座,对A先生来说,可谓急奔渡口、恰有停舟。

打那以后一年多的时间里,A先生凭借自己朴实的姿势和专一的精神,迅速地展露出了头角。一个月仅有的两次练习,路上即使花去两个小时,他也在所不惜。中心队所参加的台东区比赛,背负着支援者及同伴们期待的A先生,稳稳当当地起到了负责人的作用。

A先生在地区上的生活也因此而悄悄地发生了变化。一次,与往常一样观看别人练球的时候,一个队员向他打起了招呼。A先生于是马上作自我介绍:“我在中国归国者支援・交流中心打门球。”“那,你也进来打会儿吧。”对方回答。这以后的进展,就如破竹一般。被看成是队友的A先生,其后几乎每天都在球场上露面。他说,上午奋力练习之后,中午的那顿午餐真可谓别有一番滋味儿!

四个月前的一天,一名爱好“操场高尔夫”的邻居,竟邀约A先生一道打起了操场高尔

今号より、不定期にはありますが日本の各地で活躍中の帰国者の方々をご紹介するコーナーを設けました。読者の皆さんを勇気づけることができるような記事をめざして、日々の生活の中に生き甲斐を見い出されている方々を(経済的な成功に限らず)紹介していこうと思っています。第一弾として、スपोर्टに楽しみを見いだした一世の方をご紹介しましょう。

## 趣味に生きる第二の人生

帰国者一世(孤児本人)のAさん(千葉県在住、62歳)はどちらかといえば物静かで、控えめな印象を与える人物だった。来日して17年、息子たちは立派に成長し、日本の生活にもそれなりに馴染んでいたが、挨拶以外に話をするような隣人は一人もいなかった。日本語の会話もままならなかった。2年前に支援・交流センターが台東区の公園で初めてゲートボール講座を開いた時も目立つ存在ではなかった。

そんなAさんが、講座に申し込んだきっかけは近所でゲートボールの練習風景を見かけたことによる。以来暇さえあれば見学したが、やりたくても勇気がわかず、ただ見ているだけの日々が続いていた。そんな矢先にこのセンターのゲートボール講座を知り、ルールも教えてくれるこの講座は渡りに船だったのだ。

あれから1年余り、Aさんは素直なフォームと集中力で、めきめきと頭角を現した。月2回というわずかな練習機会に2時間かかって通った。センターチームが参加した台東区大会では支援者や仲間期待が集中し、押しも押されもせぬリーダー的存在となった。

地元での生活も少しずつ変化しはじめた。いつものように近所のゲートボールを見学し

夫。而 A 先生的操场高尔夫球技，也同样受到了瞩目。每周的三次（星期一・三・五上午）练习，他更是不肯怠慢。正是 A 先生的这一腔热情，赢得了操场高尔夫队长的高度赞赏。

家人的支持，也成了 A 先生的动力。刚开始时，A 先生自己买了一根二手的门球球棍，不久，他的儿子便给他买来了崭新的球棍。操场高尔夫球会员两天一夜的旅行费用，也是儿子给掏的。A 先生从前根本无法想象，自己有一天会夹杂在地区居民之间，与他们一起唱卡拉OK、洗温泉浴。他的世界变得广阔起来了。

最近，A 先生前来参加由中心主办的“异文化交流会（日语实习）”，想必也是希望与地区居民进行沟通的这种心理转变的反映吧。

在有着不同文化背景的异地迎接夕阳晚照的 A 先生，现在找到了自己人生的价值和乐趣。难道说这只是因为他运气好的缘故吗？不，正是 A 先生在极易闭门独处的生活中四处安窗设孔，让自己能够随时捕捉外面世界的丁点信息，然后鼓起稍许的勇气所给他带来的成果。（此处若沿用日语原来的比喻，直译为“天线”的话，容易带来误会，出于此种考虑，最终采取了意译手法。—译者）A 先生说，“归国者的朋友们，请你们不要闷在屋里，尽量去找和日本人交流的机会。这也可以成为学习日语的好机会。”

你看，A 先生今天同样也是一大早就在那儿默默地挥舞着球杆呢。



ていたら、メンバーが声をかけてくれた。A さんはすぐに「中国帰国者支援・交流センターでゲートボールやっている」と自己紹介した。「じゃ、ちょっとやってみて」と答えが返ってきた。それからは早かった。仲間として迎え入れられ、以後、ほとんど毎日のように顔を出している。午前中、一生懸命練習した後

は昼ごはんの味も格別だと言う。4ヶ月前には、グラウンド・ゴルフ愛好家の隣人にも声をかけられ、そこでも腕を見込まれた。更に週3回（月・水・金の午前）練習にも顔を出している。彼の熱心な姿勢をグラウンド・ゴルフのチームリーダーは高く買っている。

家族の支援も励ましになった。当初自分で中古のゲートボールのスティックを購入したが、まもなく息子さんが真新しいスティックを父に贈った。グラウンド・ゴルフ会員の泊旅行の費用も息子さんが支援した。地元の人に交じってカラオケや温泉を楽しむなんて以前は想像もできなかった。世界が大きく広がっていった。

最近センター主催の「異文化交流会（日本語実習）」に姿を見せたのも地元の人ともっとコミュニケーションしたいという気持ちの変化だろう。

人生の晩秋を異文化の地で迎えた A さんが今新たな生き甲斐を見いだせたのは、単なる好運だろうか。閉じこもりがちな暮らしの中で外の世界にアンテナを張り巡らし、少しの勇気を振り絞った結果ではなかっただろうか。

A さんは「帰国者の皆さんもうちに閉じこもっていないで、できるだけ日本人と交流するチャンスを見つけてほしい、日本語の勉強にもなるし」と語っている。

A さんは、今日も朝から黙々と練習に励んでいる。（Y）

## 征稿 工作体会

我是去年12月在贵处参加了远距离学习ホームヘルパー入门课程的佐々木みどりです。今年3月份在やわらぎケアにんじん会取得2级课程的修了书。现在从事家庭助理工作。

我是一个中国人,并且以一个ホームヘルパー的身份走入日本的家庭进行工作。语言,生活习惯,饮食都有很多不同,并且自己的语言又不是很好。服务对象是怎么样的人。我带着紧张而又不安的心,敲开了服务对象的门。



我的服务对象是一个孤身85岁的男性。自己的生活基本能自理。我负责,买菜做饭,扫除,洗濯等事。我被介绍到这里,开始的第二天,我和服务对象进行了一次短暂的语言交流,从服务对象的眼中我看到了他对我的戒备与不友善。在以后的日子里又说出了很多难听的话。我决定不做这个工作了。我把想法告诉了一位日本友人,友人说一个85岁的老人很寂寞的,如果是你自己的おじいさん呢?是呀,假如是我自己的おじいさん我该怎么对待他呢?何况我还是个中国人语言又不是很好,我应该从自己的身上找出缺点来改进,不能因为有一点困难就不做这个工作了,于是我就利用适当的机会和服务对象进行交谈,在生活中细小之处去关心他。我发现服务对象每次买菜时都让我给他买金时豆。这种食品好吃,但很甜,一个人如果每天吃过多的甜食对身体不好。何况是一个85岁的老人呢!我就劝他,不要吃这么多甜食,我可以做别的食品给你吃。他答应了。过了几天我发现他的脚肿了,是什么原因呢?我想大概一定是食盐过重,因为每次做菜的时候服务对象自己放调料,我负责洗菜切菜最后品尝,我感到很咸而他却说不咸,我想他

## 投稿 仕事の体験

私は昨年12月にセンターの遠隔学習課程ホームヘルパー受講準備コースを受講した佐々木みどりです。今年の3月やわらぎケアにんじん会でホームヘルパー2級を取り現在ホームヘルパーの仕事をしています。

私は中国人ですがホームヘルパーの資格を取り日本の家庭で仕事をしています。言葉や生活習慣、食文化など異なる部分が多々ある上に日本語もあまり上手ではありません。利用者はどんな人だろうと不安に思いながら利用者宅を訪れました。

私の利用者は85歳の男性です。彼には身寄りがありません。基本的な事は自分でできますが食事の支度、掃除、洗濯などは私がやります。会社から派遣された初日に簡単に自己紹介をしました。利用者の表情から彼が警戒しているのがわかりました。数日後、利用者に嫌なことを言われホームヘルパーの仕事をやめようと思い日本人の友達に相談しました。友達は「おじいさんは寂しいのよ。もしも、あなたのおじいさんだったらどうする?」と言いました。もしも私の祖父だったらどうするべきだろう?その上、私は中国人で日本語もあまり上手ではないのだから、自分の欠点を直すように心掛け、少々辛い事があったからといってこの仕事を辞めてはいけないと思うようになりました。そして何をするにも利用者とよく相談して決めるようにしました。利用者は私が買い物に行くとき金時豆を買ってくるよう頼みます。金時豆はおいしいですが、とても甘いので毎日食べたら体に悪いと思いました。その上85歳のお年寄りなんだし!そこで私は彼に「あまり甘いものを食べすぎないで下さい。私が他の物を作ってあげますから」と言いました。彼は賛成してくれました。数日後、利用者の足が腫れてしまいました。原因はきっと塩分の取りすぎだと私は思いました。なぜなら毎回ご飯



的口味不是很好吧,于是我对服务对象说我学过料理,以后由我来做好吗?于是开始由我自己全部一个人来做,包括メニュー的制定.我每次给他做不同的料理,中国的、日本的、多种多样的みそ汁、中国的汤、炒菜等等并且注重色、味和盐的减量,现在服务对象已经不说那些难听的话了.并且我每次去他家工作时都能感到他很快乐并且希望我的到来.阴天下雨的时候还会对我说早点回家吧,我自己一个人能行,不会向公司说的.而且还通过电话对公司的责任人对我进行了表扬,还有市役所介護保険のケアマネージャー对我的工作给予肯定和表扬,我感到很高兴.



我知道未来的工作道路上还会有很多困难和阻碍.但我坚信我会继续做这个工作的.从服务对象对我态度的改变,我体会到,我们每个人都应该学会关心他人,爱护他人,善于从不同的角度来发现.其实每个人的内心都有着那善良温情的一面,社会是一个大家庭.互敬互爱是无国境无语言障碍的,只要我们人人都献出一点爱,那么我们的社会将会变的更美好.



を作る時、利用者が自分で味付けをしていたからです。私は材料を洗ったり切ったり最後に味見をします。味付けがとても濃く思いましたが利用者は濃くないと言います。私は利用者の味覚はあまり良くないと思いましたが、そこで利用者に「私は料理を勉強したので、今後は私が食事の支度をしてもらいますか?」と聞きました。そして私が一人で料理をすることになりました。私は利用者には中華、和食、おみそ汁、中華スープ、炒め物など毎回違う献立を考えて作ってあげました。そして料理の色合い、味、塩加減など注意して作りました。今では利用者も私に嫌な事を言わなくなりました。また私が家に行くことをとても喜んでくれるようになり、毎回私が来るのを楽しみにしているようです。雨の日には「一人でも大丈夫だから今日は早めに帰っても良いよ。会社には言わないから」などと言ってくれます。会社の上司に電話をして私のことを褒めてくれたこともあります。そして市役所の介護保険ケアマネージャーにもお褒めの言葉をいただきました。とても嬉しかったです。

今後も仕事を続けていく上でいろいろ辛いことがあると思いますが、私はこの仕事を続けていきたいと思っています。私は利用者の私に対する態度の変化から、私達は皆他人を思いやり、いろいろな角度から物事に気づけるようになるべきだと体得しました。本当はどの人も善良な心を持っているのです。社会とは大きな家庭だと思います。互いに尊敬しあう気持ちに国境や言葉はありません。我々一人一人が愛情を注ぎあうことができれば、素晴らしい社会になると思います。